

緑のセンターだより

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター(相談所)

〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel 0166-65-5553 Fax 0166-65-5626

旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>



No.186

発行:令和2年10月1日

講習会のご案内

(お申込み・受付は前月の20日から)

「庭木の冬囲いを覚えよう」

とき 令和2年10月3日(土)

午後1:30~3:30 定員10名

講師 公園緑地協会職員(緑のセンター)



「ヒオウと秋植え球根の寄せ植え」

とき 令和2年10月4日(日) 1,000円

午後1:30~3:30 定員10名

講師 緑のセンター相談員



「立派なコショウランをもらった時の講習会 III」

とき 令和2年10月25日(日)

午後1:30~3:30 定員5名

講師 緑のセンター相談員



「果樹の剪定と栽培管理～ブドウと小果樹～」

とき 令和2年10月28日(水)

午後1:30~3:30 定員20名

講師 上川農業改良普及センター

普及指導員 岸本 結香 さん



「押し花カレンダーを作ろう」

とき 令和2年11月8日(日) 1,000円

午後1:00~3:00 定員10名

講師 押し花サークル つくしんぼ

代表 加藤 廸子 さん



第36回「旭川市の公園」絵画展

開催場所:イオンモール旭川西店

「ペットボトルの寄せ植え」無料体験講習会

日時:令和2年10月12日(月)

①9時~12時 ②13時~16時

各時間、先着25名様限定

展示会のご案内

「木の実・草の実写真展」 * 10月20日(火)~11月29日(日) * 作品提供:神田 亘雄 さん

「神楽岡公園の四季写真展」 * 12月 1日(火)~12月27日(日) * 作品提供:板垣 吉春 さん

【休館日のお知らせ】

4月~10月は第2・4月曜日が休館日です。(祝日の場合は翌日)

11月~ 3月は毎週月曜日が休館日です。(")



<園芸の基礎知識> 植物の根の働き

～ 養分の吸収 ～

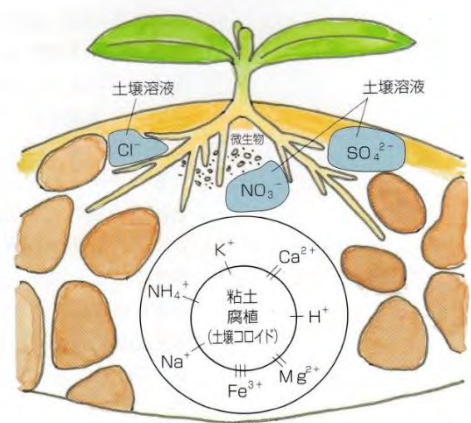
■ 養分を可溶化するしくみ

土壌中にある植物の養分の大部分は、腐植と土壌粒子に含まれていて水に溶けません。これらの養分を根が吸収するためには、まず水に溶けなければなりません。腐植は植物の窒素源として重要です。腐植を分解して窒素を供給してくれるのは根圏微生物です。植物はまた土の鉱物質の部分から必要なミネラルを吸収しますが、そのためにいろいろな酸を分泌して溶かしています。

■ 必要な養分はどのように吸収するか

植物の根は土壌溶液に溶けている養分から必要とするものを選択的に吸収します。土壌から養水分が植物細胞の中へ入るとき最初に出会うのは細胞壁です。水に溶けているイオンやショ糖などの小分子はこれを自由に通過できます。つぎは細胞質の表面をおおっている細胞膜ですが、水や電荷をもたない分子、たとえばエタノール、尿素、グリセロールなどはよく通りますが、グルコースくらいの大きになるとかなり通りにくくなります。これと対照的に電荷をもっているイオンは、例えばアンモニウムイオンやカリウムイオンのような小さなイオンでも通りにくいです。しかし、このような細胞膜には特定の溶質を通す入り口が存在します。結合する相手を特定するとともに、濃度勾配に逆らった積極的な選択吸収を行ないます。また、小孔は特定の変化に应答して短時間だけ開き、その孔の隙間にあった大きさのイオンだけが通過できます。

(参考資料: 研成社「根物語」、農山村漁村文化協会「園芸学の基礎」ほか)



根圏をとりまく環境

ちょっと楽しい講座のご紹介

「ビオラと秋植え球根の寄せ植え講座」から

例年実施している講座で、令和元年10月6日(土)に行われた講座をご紹介します。

この時期は秋植え球根の植付け時期になりますが、チューリップなどの球根をフラワーポットに植え付けて、一緒にビオラを寄せ植えすることでチューリップなどの球根が開花するまでの間、ビオラの花を楽しもうという講座です。講師の当センターの相談員から秋植え球根



の性質や特徴、寄せ植えの楽しさなどを教わって、さあよいよ寄せ植えの作業に入ります。参加者からは「こんなにたくさん球根を植えるの?」と驚きの声が上がります。内径28 cm、深さ25 cmのフラワーポットに緑のセンターで使用している混合土(赤玉土60%、腐葉土30%、火山礫10%)を詰め、そこにチューリップ3品種5球、ハナニラ5球、ムスカリ5球、そしてビオラの苗5品種中3品種を選んですき間なく植え込みます。

自宅に持ち帰って雪が降るまでビオラを楽しみ、冬は雪の下にして寒さに当たると来年春にはみごとな球根の花が咲き誇ります。

植物の病害虫

その57「キュウリのうどんこ病」



発生初期の症状(写真1)



まん延症状



子のう殻写真2

1 寄生しやすい植物

野菜ではキュウリ。

2 被害

キュウリ栽培では必ずといってよいほど発生する病害で主に葉に発生します。発病は下の方の葉から始まり上の葉へと進行し葉面にうどん粉をまぶしたように白いかびが生えます。病勢が進むと植物体全体が汚白色のかびで覆われ、葉が黄化して枯れることもあります。病斑上に黒色の小粒(子のう殻)写真を生じます。

3 生態

病原:糸状菌(かび)でキュウリの病原菌はスファエロテカ ククルビタエです。

発生原因になる糸状菌は12の系統に分類(キュウリとイチゴでは系統が異なり感染しない)されます。

病原菌は純寄生菌(人口培養ができない。生きた宿主植物から栄養を吸収してのみ生活できる菌)です。

この病原菌はキュウリのほか、カボチャ・メロン・マクワウリ・スイカなどを侵します。

大部分の菌糸は寄主体の外表部に着生し白く見える菌体上に形成される胞子が飛散して伝染します。

露地栽培では、夏季の28℃前後でやや乾燥した条件下で多発します。直接雨の当たらない施設栽培で被害が大きくなります。

また、多肥栽培でも多発する傾向があります。

4 防除法

- (1) 窒素肥料を少なめにし、株・葉の間を開けて風通しと土壌の排水性を良くします。
- (2) 薬剤散布は発生初期(写真1)から、葉の表裏に十分にかかるように、系統の異なる薬剤をローテーション散布します。
- (3) 登録のある薬剤: 予防的防除には、TPN「商品名:ダコニール 1000 フロアブル」を1000倍で散布します。治療的防除には、炭酸水素ナトリウム「商品名:カリグリーン」を800倍で散布します。

秋植え球根で春一番の花を楽しむ

今、園芸コーナーの店頭には沢山の春咲球根が並んでいます。球根の植え付け時期は、一般的に地温が下がり始める9月下旬頃から10月末頃までが植え付け時期ですが、気温が高い時期は球根が腐りやすくなるので、涼しさを少し感じてから植え付けします。庭植えでも鉢植えでも栽培は可能ですが、陽当たりが良い場所が良く、水はけのよい土に、球根の3倍ほどの深さに植え込みします。

植え付けられた球根は、土の中で生長しながら翌春の雪融けを待ち、春を感じて地上に顔を出し、生長して花を咲かせます。自分で植えた球根が、美しい花姿に生長する姿は特にいとおしく感じるものです。



ランタンキュラス



オキザリス



ユリ



スイセン



ジャーマンアイリス



シラー



ムスカリ



アルストロメリア



ハナニラ



オーニソガラム



アネモネ



イキシア



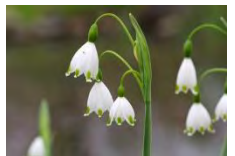
チューリップ



アリウム



クロッカス



スノーフレーク



ヒヤシンス



トリテレイア



チオノドクサ



スノードロップ

展示室の植物 (92)

クダモノトケイソウ

学名: *Passiflora edulis* トケイソウ科 トケイソウ属



南アメリカ大陸が原産のつる性の植物です。日本では3つに分かれた雄蕊の形が時計の文字盤に似ていることが名前の由来になっています。西南暖地では冬も庭で越す種類もあるようですが、旭川では室内に取り込んで楽しめます。

花径が4~5cmほどの花を觀賞する種類には、白花のほか赤、青、黄の花色も楽しめます。緑のセンターの温室では、花を楽しみ、そして果実も収穫できる品種を育てています。別名ではパッションフルーツとも呼ばれています。